

3年
学年だより
第5号

Shining!!

令和7年9月26日(金)
かほく市立河北台中学校
校長 竹内 幸明
学年主任 廣谷 玲江

最上級生としての力を見せた！体育祭！

9月24日(水)、かほく市総合体育館で体育祭が開催されました。前年に続いて、天候に左右されることなく、カー杯競技や応援に打ち込むことができました。

どの団も、この日のために応援リーダーを中心として、一生懸命練習を重ねてきました。その中で、リーダーたちが団をまとめて引っ張っていかうとする頼もしい姿がたくさんみられました。これは夏休み中や放課後に集まり、振付や指導の仕方について話し合うなど、しっかりと準備をしてきたからこそのものでした。また、リーダー以外の3年生も前もって振付を覚えたり、練習を盛り上げようと行動したりしてリーダーたちを支えていました。1、2年生もその気持ちに添えてくれて、あのすばらしい応援合戦を作り上げることができたのだと思いました。



— 結果 —

応援部門 最優秀賞 黄団

競技部門 優勝 赤団



～応援リーダーの振り返り～

応援練習が始まる前は、黄団のみんなが本当に声を出してくれるのか、ダンスの振付を覚えて踊ってくれるのかと正直とても心配でした。でも、そんな心配しなくても一回目の練習から、どの団にも負けないうらいの声出しやダンスを見て、何度もみんなから勇気をもらいました。体育祭当日、練習をはるかに上回るような声出し、ダンスなどを全員がしてくれて、改めて黄団の団長でよかったと思っています。黄団のみなさん、こんな私に最後までついてきてくれてありがとう。そして、一人ひとりが全力を出してくれてありがとう。私はそんな黄団が好きです。

(1組 団長 太田 あいり)



黄団は、最初の練習の時から声が大きいと思いました。でも、ただ大きい声を出すだけではなく、練習をするたびにきちんとメリハリをつけて、やる時にはやってくれるようになり、この団となら、うまくやっていけそうだと思うようになりました。本番では、今までで一番よい応援ができたと感じ、自分はこの団になれてよかったと思うし、この団には他の団にはない魅力があると思ったので、また、何かがあったときには、この団で行事をしたいと思いました。(1組 副団長 泉 日成生)

体育祭では応援団として活動し、応援合戦では最優秀賞をとることができました。最初は声を出すことや、みんなをまとめることに自信がなく、不安でいっぱいでした。しかし、夏休みや放課後に何度も練習を重ね、声出しや振付の確認を通して、少しずつ持つことができました。本番では全力で声を出し、全員で応援をやり切った瞬間、これまでの努力が報われた気がしました。この経験を通して、何事も諦めずに取り組むことの大切さを学びました。

(1組 和泉 勇吾)



団長として、練習では自分から大きな声でみんなを引っ張っていき、簡単なところから、みんなで合わせようとしていました。でも、すぐにもとに戻ってしまうことがあったので、何度も繰り返す言うべきだったと思いました。でも、青団のみんなは難しい振付も上手くできるようになってよかったです。始めのころは、小さいグループで活動することで周りがよく見えたので教えやすかったと思います。3位で悔しかったけど、練習も本番もみんなで盛り上がって楽しかったので、やってよかったです。

(2組 団長 内瀧 千暉)

青団は、本番までなかなか振付がそろわず、まとまらなかったため、練習以上のものを出せるか不安でした。そこで、体育祭が始まり、青団のみんなに委員会種目から一緒に応援することを伝えました。みんなで応援したことで、本番ならではの団結が青団に生まれ、応援合戦では、みんな明るい表情で応援することができたと思います。また、この体育祭を通して、1、2年生に体育祭の良さを伝えることができたと思います。(2組 小森 侑和)

初めての応援団、団長として、みんなと輪になってまたしたいと思えるような練習にすることを意識しました。そのために明るく参加しやすい雰囲気づくりを心掛けました。体育祭の応援は、競技中、いい応援ができていました。最高の体育祭になってうれしかったです。ありがとう。(3組 団長 塩本 竜生)

3年連続で応援リーダーとしてやって、最後に3年間積み上げてきたことを出して楽しく終われたのでよかったです。また、1年生の時には3年生との心の壁があるように感じて、そのまま終わってしまったけれども、自分は今回の1年生にはそんなことを感じさせたくないと思い、全力で楽しませることを考えて、自分としてはそれを達成できたのでよかったです。そして、総合優勝できてよかったです。(3組 板井 勇海)

体育祭を終えて、応援リーダーとして大きな成長を感じました。声を出し続けるのは大変でしたが、仲間と一緒に声を合わせてくれたことで力が湧きました。応援を通してチームが一つになり、笑顔や涙を共有できたことが一番の思い出です。結果以上に、全員で頑張った過程が宝物になりました。この経験を自信にして、これからも仲間を支えられる存在でありたいです。本当に最高の時間でした。ありがとうございます。(1組 金田 芽依)

私は、今日の体育祭のために応援リーダーとして青団をまとまりのある団に引っ張っていかうと思っていました。しかし、みんなに教えていくうちに難しいと感じ、もっと頑張らないとダメだと思いました。結果は総合3位だったけど、今までの練習に比べて一番よかったと思います。だから、3位で少し悔しいけど、力を最大に発揮することができてよかったです。3年目の体育祭でも楽しくできて青団に感謝です。(2組 副団長 小池田 莉彩)

僕が応援リーダーとして頑張ったことは、団のみんなをまとめることです。しかし、応援リーダーが二人しかいないときや、団員全員と練習するときなどは全くうまくまとめることができませんでした。そのとき、僕は仲間の大切さを実感しました。なぜなら一人ではできなかったことが仲間と一緒にやるとできるようになったからです。これからは、人任せにはならないようにしながらも周りの人に頼ってみようと思いました。(2組 油野 冬和)



私は今年、副団長として団長を支えることと全員を応援に参加させることを意識して取り組みました。そのために自分から手本となるような行動をしたり、1、2年生が参加しやすくなるように3年生に協力してもらったりしました。当日の応援は今までで一番よいものになり、忘れられない思い出となりました。赤団のメンバーには感謝しかありません。ついてきてくれて、ありがとう！(3組 副団長 塚本 奈優)

私は応援団として、振り付けや隊形移動、練習の指示などをしました。特に誰よりも声を出すことを頑張りました。また、グループで分かれて振付や声出しの練習をして、応援練習を円滑に進めることができました。そして、最初は声が小さかった人たちも私たち応援団や3年生につられて声が大きくなり、最終的にはとても良い応援をつくりあげることができたし、本番も完璧な応援ができたのでよかったです。(3組 高松 美流星)